

2021年2月14日(日)メッセージアウトライン 「御霊の実を結ぶために」

聖書箇所：ガラテヤ人への手紙5：16～6：1

タイトル：「御霊の実を結ぶために」

テーマ：イエス・キリストの十字架の贖いによって罪から解放されたクリスチャンは、各自御霊をいただいて、自分の努力ではなく、御霊の助けと導きをいただきながら、日々、キリストに似た者へと造り変えられて行きます。

本日の聖書箇所は、御霊によって結ばせていただく実の種類が9つ列挙されています。何気なく読んでいると、御霊の内住をいただいているクリスチャンは、御霊が働いて下さるのだから、御霊にお委ねしていけば自然に御霊の実が結ばれりと受けとめてしまいがちです。神は私たちに驚くべき愛と恵みを注いでくださっていますが、クリスチャンが果たすべき責任をないがしろにはされません。私たち人間を、神の思い通りに動くロボットのように造ってはおられませんから、神の願いに対して、責任ある態度で臨んでほしいと願っておられます。ですから御霊の実を結ぶために神の側がなして下さることと、人間の側が果たすべき責任がこの箇所には示されているのです。

それを見つけ出して、私たちの果たすべき責任を果たし、御霊の実を結ぶために神が成し遂げてくださる奇跡の御業を体験させていただこうではありませんか。

1. 御霊の実を結ぶための秘訣（5：24，25）

①「キリスト・イエスにつく者は、自分の肉を、情欲や欲望とともに十字架につけたのです。私たちは、御霊によって生きているのなら、御霊によって進もうではありませんか。」

* 古い自分は死んだと宣言し続けること、すぐに生き返ろうとする自我を絶えず十字架につけていく意思と決断が必要。

②肉との戦い（5：16～21）

* 肉の思いと御霊の思いはいつも対立する

* 古い私の肉の声に従うのか、御霊の声に聴き従うのか、私たちは選ばなければならぬ。御霊に従って生きることを！

2. 御霊の実とは何でしょう？

①御霊に徹底的にお従いする中で結ばれていく品性の実

* 果物の例

* 御霊の実である「愛の実」はどこを切っても御霊の愛でできている。

②御霊の実を結ぶまでの道のり

* 肉の思いとの壮絶な戦い

③「愛の実」を結ぶにあたってぶつかる壁——人間の愛の限界

3. なぜ「御霊の実」のトップが「愛」なんですか？

- ①神への愛、隣人への愛こそ、クリスチャンが身につけるべき品性の出発点であり終着点
ここで使われている「愛」はギリシア語の「アガペー（神の愛、条件を付けない愛）」
- ②「愛」には感情も含まれますが、「愛する」ことは意志であり決断である
- ③私たちの中には、ここで言われている「愛」がないという事実を認めること
 - *「神が私たちを愛し、私たちの罪のために宥めのささげ物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。」（Iヨハネ4：10）
 - 「愛は神から出ているのです。」（Iヨハネ4：7）
 - *愛することは、時には犠牲を伴う
- ④そこに祈りが生まれる
 - *御霊は神のみ心を私たちに教えてくださる。御霊の実を結ぶことは努力目標ではなく、神のみ心そのもの。同時に神のご性質でもある
 - *「愛せよ」と言われても、私の中にはいかなる隣人をもとことん愛する愛がない、だから祈る。血の出るような選択であり、告白
 - *6：1にあるように「兄弟たち。もし、だれかが何かの過ちに陥っていることが分かったなら、御霊の人であるあなたがたは、柔和な心でその人を正してあげなさい。また、自分自身も誘惑に陥らないように気をつけなさい。」
 - *神は祈りに応えてくださる
 - *新しい人に造り変えられるための信仰の戦い
人間の側の絶えざる決断と祈り、神の恵みが必要
 - *なぜ御霊の実のはじめに「愛」が取り上げられているのか
この愛の中に他の御霊の実も包含されている
御霊の実は何をしなくても結ばれるものではない

4. 結論

- ①クリスチャン個人としても、キリストの共同体である教会としても御霊の実を結んでいく。教会は御霊の共同体であるから必ず御霊に従えば、御霊の実を結ぶことができる。
- ②私たちの教会を見て周りの人々は言うだろうか？「ここに愛がある！」と。